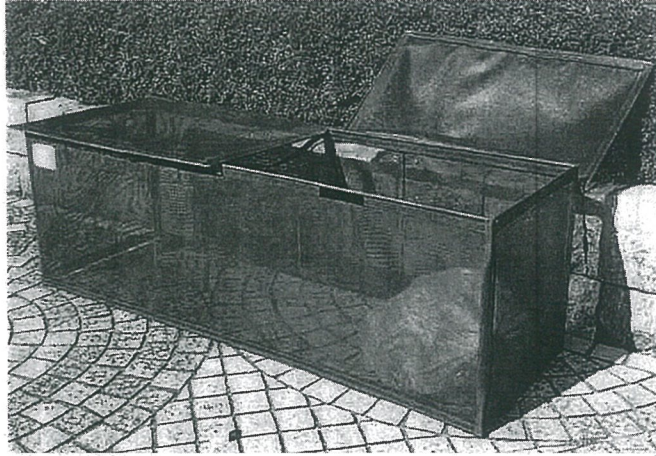


軽量ごみステーション発売

保安用品扱うカンエツ(新潟北区)



カンエツが発売したごみステーションの横幅180センチのタイプ

折り畳み式 設置、管理が容易

建設現場向け保安用品の
販売・レンタルを手掛ける
カンエツ(新潟市北区)は、
折り畳み式の軽量ごみステ

ーションを発売した。従来の約半分に軽量化し、ネットとフレームを取り外しできるようにして交換を簡単にした。高齢者でも持ち運びしやすく、修繕コストも低減したことで販売増を目指す。

住宅地では、ごみ集積所の設置場所が固定化されないよう、折り畳みできる移動式ごみステーションの利用が広がっている。需要に着目したカンエツは、10年ほど前から建築資材を使った折り畳み式ごみステーションを販売。新潟市を中心に東京や広島県などに販路を持ち、累計販売台数は6千台を超える。

新製品「折り畳み式ゴミボックスLite」(ライ

ト)は「高齢者には重く、持ち運びが大変」「ネットやフレームの修繕費を抑えたい」といった従来品への要望から開発した。横幅180センチで45センチ袋が15個入るサイズ(税別3万8千円)と同120センチで10個入るサイズ(同3万円)の2種類。ネットはマジックテープでステンレス製のフレームに取り付ける。どちらかが壊れた場合は片方だけの購入で済むようにした。

軽量化に向けフレームを細くし、ネットをプラスチック樹脂からメッシュシートに変更。重さは180センチタイプで6・1キロ、120センチで4・35キロと従来の半分に抑えた。カンエツのごみステー

ーションの売上高(2017年4月期)は約3千万円。新製品の投入で数年以内5千万円に引き上げた。い考え。関谷薫社長は「高齢者をはじめ、多くの方が使いやすい製品」として